県PTA広報 とっとり
平成27年11月6日
73号

みんな輝け☆ つながれ未来

～心のふるさと育てよう～

鳥取県ＰＴＡ協議会
会長　山　代　豊

皆様には日頃より鳥取県ＰＴＡ協議会の活動に、ご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

ＰＴＡの活動の基本は各小学校、中学校の単位ＰＴＡです。それぞれの単位ＰＴＡでは、特色のある活動を精力的に取り組んでおられることと思います。鳥取県内には133の小学校と、58の中学校があり41,281人（平成27年5月1日現在）の会員がいます。また中学校区では、中学校区ＰＴＡ連絡協議会等があり意欲的に共通実践を行っていると聞いています。更に鳥取県内には17郡市ＰＴＡ連合会（小学校8連合会、中学校8連合会、小中学校1連合会）があり当会を構成しています。各連合会はそれぞれの地区で精力的に活動に取り組み、教育諸問題などにつき市町村教育委員会と協議しています。当会の活動は各単位ＰＴＡからは見えにくいとは思いますが、この広報紙にお示しするように各種の取り組みを行っています。当会は中国5県の5つの県と一つの政令都市で構成される中国ブロックＰＴＡ協議会に所属していますが、全国には47都道府県と政令都市を含む62の協議会があり、これらを合わせて日本ＰＴＡ全国協議会が構成されています。日本全国に我々と同じように子どもたちのために活動するＰＴＡの仲間がいるということは、素晴らしい事ではないでしょうか？ＰＴＡ活動に主体的に参加できるのは、子どもたちが学校に通っている間だけです。子育ての時だけ参加できる、一番身近な社会参加の手段として今後もＰＴＡ活動へ積極的に参加していただきたいと思います。各単位ＰＴＡの活動が盛り上がるために当会は県内や全国のＰＴＡの実践例を紹介したり、各種研修会や講演会なども企画しています。是非ご利用いただきたいと思います。今年度はケータイ（スマホ）・ネットの問題に関する取り組みとして「メディア21:00」運動を開始しました。これらの活動に関しましてはホームページを開設しておりますので、是非隅々までご覧になり当会の活動に尚一層のご理解をいただきたいと思います。

さて当会が所属する中国ブロックＰＴＡ協議会では来年度、鳥取県東部を会場に第46回日本ＰＴＡ中国ブロック研究大会とっとり大会を開催することとなりました。今年度の当会のスローガンである「みんな輝け☆つながれ未来！～心のふるさと育てよう～」を大会スローガンとして平成28年11月12日に、とりぎん文化会館梨花ホール（鳥取県立県民文化会館）を会場に開催される予定となっています。このスローガンを実践に結び付けるために当会では本年度の活動方針を、

（1）子どもたちの豊かな心と生きる力の源となる「心のふるさと」を育てるＰＴＡ活動に取り組みます。

（2）地域のたからである子どもたちの輝く未来のために、みんなつながるＰＴＡを目指します。

（3）子どもたちを取り巻く課題に対し、家庭・学校・地域が共に協力し、時代に即応したＰＴＡ活動に取り組みます。

としました。家庭・学校・地域・社会とのつながり、過去から未来へのつながりを活かし、そして新たに創っていく私たちの取り組みが、子どもたちの輝かしい未来につながり、子どもたちの豊かな心と生きる力の源となる「心のふるさと」を育てる活動となるよう皆様の尚一層のご協力をお願いいたします。

平成27年度 県Ｐ役員紹介

平成27年6月6日（土）県立倉吉体育文化会館に於いて開催の総会で本年度役員承認しました。会長、副会長、ブロック代表理事の3役を紹介します。

会　長　山代　豊
鳥取市中学校ＰＴＡ連合会
鳥取市立北中学校ＰＴＡ

副会長　横山　薫
倉吉市中学校ＰＴＡ連合会
倉吉市立東中学校ＰＴＡ

副会長　南家　充明
境港市中学校ＰＴＡ連合会
境港市立第三中学校ＰＴＡ

副会長　若月　美和子
日野郡小学校ＰＴＡ連合会
日南町立日南小学校ＰＴＡ

副会長　久岡　賀代子
県小学校校長会会長
鳥取市立醇風小学校

副会長　櫻井　修
県中学校校長会会長
鳥取市立東中学校

ブロック代表理事（研修委員長）
大呂　延幸
八頭郡小学校ＰＴＡ連合会
八頭町立丹比小学校ＰＴＡ

ブロック副代表理事（研修副委員長）
福壽　みどり
鳥取市小学校ＰＴＡ連合会
鳥取市立福部小学校ＰＴＡ

ブロック代表理事（総務委員長）
足羽　利幸
東伯郡中学校ＰＴＡ連合会
湯梨浜町立東郷中学校ＰＴＡ

ブロック副代表理事（総務副委員長）
中原　知恵
東伯郡小学校ＰＴＡ連合会
湯梨浜町立羽合小学校ＰＴＡ

ブロック代表理事（広報委員長）
山本　光陽
米子市小学校ＰＴＡ連合会
米子市立福生東小学校保護者と先生の会

ブロック副代表理事（広報副委員長）
川上　絵里子
日野郡中学校ＰＴＡ連合会
日南町立日南中学校ＰＴＡ

鳥取県PTA協議会の事務局紹介

構　　成：浅雄事務局長（写真右）、石橋事務局員（写真左）
事 務 局：県民ふれあい会館内（鳥取市）
業務内容：各郡市 PTA 連合会事務局との連絡調整等、県教育委員会主管課（小中学校課）との連絡調整、各専門委員会との連絡調整、PTA 保険の取りまとめと代理店との連絡調整、日本 PTA 全国協議会、中国ブロック PTA 協議会との連携、三役会・理事会の運営補助、ホームページ更新、会計管理、書類作成等

事務局の２名はPTA会長経験を生かして、単位PTAの目線を忘れず、また、電話での応答では、笑顔と元気なあいさつを心がけています。
お気軽に事務局にお越しください。元気なおばちゃん二人がお待ちしています。

各専門委員会の役割

総務委員会（中部ブロック）
●総会及び理事会の開催
●知事、県教育委員会へ要望書作成
●学校家庭教育実態調査、研究

広報委員会（西部ブロック）
●広報紙作成（年2回）
●広報紙コンクールの開催
●優秀広報紙集の作成

研修委員会（東部ブロック）
●研究大会開催
●教育懇談会開催

CONTENTS

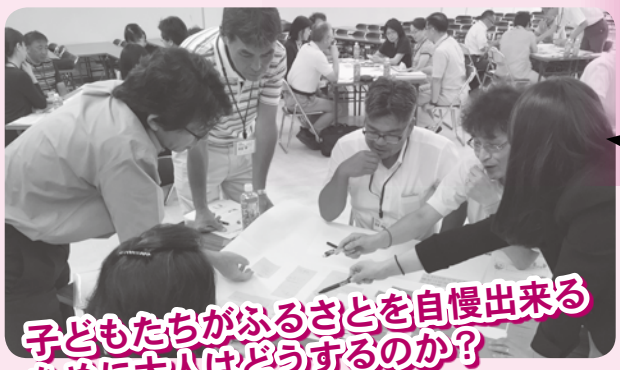
このロゴマークは八橋小 PTA の中本優紀さんのデザインによるものです

【P1】
・県P会長あいさつ
・平成27年度 県Ｐ役員紹介
・各専門委員会の役割
・鳥取県ＰＴＡ協議会の事務局紹介
【P2】
・教育懇談会報告
・ＰＴＡ指導者研修会報告
【P3】
・日P全国大会報告
・中国ブロック大会 とっとり大会PR
【P4】
・米子市P連ケータイ・スマホアピールの経緯と今後
・広報紙コンクール表彰
・給食試食会

編集・発行
鳥取県 PTA 協議会

事務局
〒680-0846　鳥取市扇町21
県民ふれあい会館内
TEL:0857-21-2285
FAX:0857-21-0906
E-mail:tori-pta@gamma.ocn.ne.jp
http://www.tottori-pta.net/

みんなの「ふるさと教育」についてあつく語る！ 教育懇談会



子どもたちがふるさとを自慢出来るために大人はどうするのか？

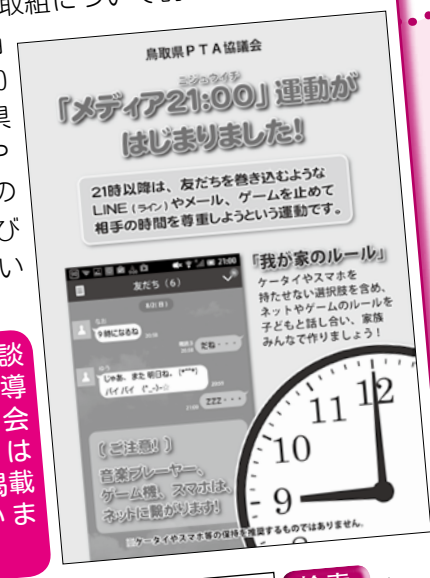
平成 27 年度　鳥取県ＰＴＡ協議会「教育懇談会、情報交換会」が８月１日（土）倉吉体育文化会館にて行われました。

始めに、６つの小グループに分かれ自己紹介、県教委などと一緒にグループ討議が行われました。

その後、８つの小グループに再編成されて「ふるさと教育」について県教委から説明を受けて３つのテーマを順番にグループ討議が行われ最後に結果を集計されました。

グループ討議①　メディア 21 時について
グループ討議②　ＩＣＴ教育・学力向上について
グループ討議③　家庭教育について
グループ討議④　キャリア教育について
グループ討議⑤　土曜日授業について
グループ討議⑥　ＰＴＡ活動の活性化について

グループ討議①で“メディアを使った通信機器の利用を夜９時迄にしよう”という県下一斉の取組について討議を行い、これを受けて当協議会は 10 月 15 日県下の単位ＰＴＡにこの運動の呼びかけを行いました。



教育懇談会、指導者研修会の詳細はHPに掲載しています！

鳥取県ＰＴＡ協議会　検索

「ふるさとを愛し豊かな心を持った子ども」を育てるためには？

・地域行事の参加
・学ぶ
・体験する。

「自らの目標に向かって志を持ち力強く生きていく子ども」に育てるためには？

・チャレンジ
・見守り
・ほめる
・親の姿を見せる。

「地域の課題に気づき、解決する能力を身につけ、地域社会に貢献する子ども」に育てるためには？

・行事に参加・継続
・仲間を作る。
・多様性を身に付ける。
・コミュニケーションを取る。

総括：目の前に形としてあるものだけではなく、目には見えないけど確かにある“人の心にある優しさや温かさ”を感じる子どもになって欲しい。たくさんの人に触れ、たくさんの体験が子どもたちの豊かな学びとなり、子どもたちの心に“ふるさと”として刻み込まれるために、家庭・地域・学校・行政が一緒になって未来を支える子どもたちを育てていきましょう。

ＰＴＡ指導者研修会

東部開催：平成27年6月13日（土）国府町中央公民館
中部開催：平成27年6月27日（土）倉吉体育文化会館
西部開催：平成27年6月13日（土）米子コンベンションセンター

総会が終わり県Ｐ協での最初の事業を東中西部ブロックに分かれ開催致しました。家庭・学校・地域をつなぐ重要な組織である PTA の役員を対象に、現代的課題を踏まえながら指導者としての資質の向上を図る「PTA 指導者研修会」を実施することで、役員から各単位 PTA に研修内容を広げていき、PTA 活動の活性化、子どもたちの基本的生活習慣の定着化、学習環境の整備を図ることを趣旨として子どもたちの事を想い、考えるなか大人がしっかりと繋がるきっかけとなった事業でした。

東部　参加者：164名

（1）第一分科会
“広報紙の作成方法、事例発表と講演”
講師：新日本海新聞社取締役編集制作局長
田中仁成 氏

（2）第二分科会
“みんなで考えよう、ケータイ・スマートフォンで iPad 使用体験”
講師：ＮＰＯ法人企業教育研究会
事務局長 市野敬介 氏

（3）第三分科会
“「自立のしつけ」をめざしてをテーマに講演と討議”
講師：鳥取県教育委員会　寺谷孝志 氏

中部　参加者：101名

全体研修　講師：井上洋子 氏
前鳥取県ＰＴＡ協議会会長

テーマ別研修会

（1）第一分科会
ＳＣは“こころの問題”の駆け込み寺
講師：臨床心理士　田村真一 氏

（2）第二分科会
親業～子どもの考える力をのばす親子関係のつくり方～
講師：ぷろじぇくとえん代表
西浦公子 氏

（3）第三分科会
PTA 活性化に向けた「おやじの会」のありかたについて考える
講師：倉吉幼稚園　日野彰則 氏

西部　参加者：140名

（1）第一分科会
「子どもの自立心」を育てるには「家庭との絆・人と人の絆」を大切にし、親子で成長が必要と感じられた・・・
講師：美保学園長　堀口達也 氏
指導助言：鳥取県教育委員会　船越路央 氏

（2）第二分科会
PTA 活動活性化“「広報紙づくり～新聞記者の視点から」事例発表と講演、新聞記者は作成に際し《5W1H》が基本”
講師：新日本海新聞社
西部本社編集局長
澤田圭太郎 氏

第 63 回日本 PTA 全国研究大会 札幌大会

札幌の地に 7200 名が集う

平成 26 年 8月21日(金)～8月22日(土)

8月21日・22日に開拓の歴史を刻む道都・札幌市において「ひろがれ！子の未来、つながれ！親力～今、札幌から始まる、これからのＰＴＡ～」の大会スローガンのもと開催し鳥取県より17名で参加致しました。初日は10分科会に分かれて学校・家庭教育・地域連携など子どもたちの笑顔あふれる活動を広げるための基調講演やパネル討議が行われました。また札幌市各地の子どもたちがアトラクションで大いに盛り上げてくれました。日本ＰＴＡ協議会担当の特別第一分科会では「子の未来（ゆめ）を知り、支援する保護者の力」研究課題で女優の千堂あきほ氏と沢英里子氏による対談方式での基調講演が行われ、千堂氏は、これまでの芸能活動での努力や現在拠点にしている札幌での生活・子育てなどを語りました。二日目は北海道立総合体育館において脚本家の倉本聡氏による全体会記念講演を聞きました。

子どもたちを取り巻く環境がめまぐるしく変化しているなか、学校、家庭、地域の連携を深め、保護者がその変化に対応できるような学びと、家庭教育の向上、子どもとともに歩んでいくために必要な情報の収集および共有を継続して進めていく事が求められます。また大人が対処するばかりではなく、子どもたちが自らで判断し、対処出来る自立と自律を会得した思いやりのある人として成長出来るように私たちはあらゆるネットワークを発動して、サポートする事が必要です！この大会においてＰＴＡの会員、行政が同じ方向を向き、子どもたちの将来に責任の持てる社会を創るため、私たちは手を繋ぎ進み、子どもたちとともに今だから出来るＰＴＡをひとりの100歩より100人の一歩で歩み出しましょう。すべては愛してやまない子どもたちのために実践しましょう。

▲日本ＰＴＡ担当
特別第１分科会

▲札幌での夜は地元でも有名なジンギスカン専門店で 20 名集まり「鳥取ナイト in 札幌」を開催して熱く語り少し涼しい札幌の気温を吹き飛ばしました。

▲全体会と記念講演
（倉本　聰氏「あなたは子どもたちの想像力を育ててますか」）

参加した会員の声より

～ＰＴＡの魅力、全力発信～

●第４分科会　あなたに「伝える心」を耕し、伝える力をアップする！

第４分科会は、広報活動を主眼とし「伝える力をアップする！」をテーマに基調講演（演劇）や討議、広報紙制作のアドバイス等が行われました。

劇団 32 口径による演劇は、捨てられた犬たちの心の声を伝える趣旨の内容で、広報活動の要点である、伝える心を違った視点から観て考えさせられる感動の物語でした。

討議については、作家千石涼太郎氏とあるた出版社長の平野たまみ氏らにより、ＰＴＡ力をアップさせるための、魅力発信の極意等について学ぶことが出来ました。

最後に、ＰＴＡ広報部長による広報紙作成要領について、質疑応答を交えアドバイスをいただきました。

●特別第２分科会　子どものための情報モラル

基調講演は兵庫県立大学の竹内和雄准教授による「スマホ時代の大人が知っておきたいこと」と題した講演でした。子どもたちの間で使われている用語や、スマホをめぐる現状の紹介から始まり、ケータイ・スマホの問題に対する対策の歴史、今後の私たち保護者がなすべき対応について丁寧にわかりやすく、興味を引く実例を紹介しながら講演を伺いました。携帯電話は多機能化が進み現在では多くの大人が当たり前のように所持するようになった半面、家電（いえでん）を持たない家が増えてきたことから保護者が自分の子どもに連絡するためには子どもに携帯を持たせるしかない現状があるという話の紹介がありました。事実子どもたちの携帯所持率は年々増えており低年齢での所持率も増えてきているようです。子どもたちにとってケータイを持っていることは徐々に当たり前になりつつあるようです。このような時代背景に伴い、当初は子どもに携帯を持たせることを禁止するという時代から、ルールを保護者が定める時代を経て、これからは子どもたちが自律的にそのあり方を討議し決定する時代へと進んでいるようです。多くの問題や事件の実例をお示し頂きましたが、私たち保護者は子どもたちを守るために、小さなことから一ずつ取り組むことが重要であることをご教示頂きました。スマホの問題の着地点はスマホ自体にあるのではなく、結局は心の問題であるという話が印象的でした。

その後実践発表として北海道の現状や実践を紹介いただき、パネルディスカッションでは PTA、教育委員会、教育現場、研究者などが参加して様々な取り組みが紹介され議論がなされました。

沢山の勉強、多くの方たちとの出会い、充実した３日間を過ごすことができました。子どもたちの為にという想いの PTA ですが、実は全て子どもたちのおかげだと感じることが出来た旅でした。

分科会内容一覧

分科会	領　域	研究課題	基調講演者	会　場
第１分科会	組織運営	「チームの育み方！」	西村　　淳氏	ニトリ文化ホール
第２分科会	家庭教育	奏でよう心のハーモニー	田中　俊成氏	札幌芸術の森　アートホール
第３分科会	学校教育	「子どもたちが輝ける未来をめざして」	本間　英昭氏	札幌コンベンションセンター
第４分科会	広報活動	あなたに「伝える心」を耕し、伝える力をアップする！	MARU 氏	共済ホール
第５分科会	地域連携	『子ども一人一人を育むための「地域連携」のあり方』	大泉　恒彦氏	わくわくホリデーホール
第６分科会	人権教育	絆(信頼)・愛(感謝)夢(希望)をもって生きることの素晴らしさをつないで	植松　　努氏	札幌全日空ホテル
第７分科会	国際理解・環境	未来を担う子どもたちのために伝えよう	下川原清貴氏	道新ホール
第８分科会	健康安全	食から得られるいのち	駒谷　信幸氏	札幌コンベンションセンター
特別第１分科会	日本 PTA 全国協議会担当	子の未来（ゆめ）を知り、支援する保護者の力	千堂あきほ氏	札幌市教育文化会館
特別第２分科会	文部科学省協力	「子どものための情報モラル」	竹内　和雄氏	札幌コンベンションセンター

来年は鳥取県で中国ブロック研究大会が開催です。

第 46 回日本PTA中国ブロック研究大会 とっとり大会

日本ＰＴＡ中国ブロック研究大会とっとり大会が、平成 28 年 11 月 12 日（土）に鳥取市で開催されることになりました。鳥取県での開催は平成 22 年米子大会から６年ぶりとなります。すでに県Ｐ協の東部ブロック役員とＯＢを中心に実行委員会を構成し、準備を始めています。

今回の大会スローガンは「みんな輝け☆つながれ未来！～心のふるさと育てよう～」です。子どもたちは、家庭、学校、地域などさまざまなつながりの中で今を生きています。そして、新しいつながりを作りながら、学び、成長しています。つながりが心の「ふるさと」となり、自分らしく輝ける未来への支えとなってほしい。「ふるさと」を愛し「ふるさと」で活躍し、次の世代へ「ふるさと」をつなげていってほしい。そんな思いを込めました。私たちＰＴＡのつながりを子どもたちのためにどのように活かしていくか、みなさんと一緒に考える大会にしたいと思います。

大会には、中国５県から 2,000 名のＰＴＡの仲間が集まります。鳥取県のＰＴＡ会員の皆さんには事前準備や当日の係などをお願いすることになります。新しいつながりがたくさん生まれる大会になるよう、皆さんのご協力をお願いします。

全国入賞おめでとう!!

平成 26 年度　第 37 回全国小・中学校 PTA 広報紙コンクール入賞

日本教育新聞社　社長賞
米子市立車尾小学校 PTA「くずも」

レイアウト賞
三朝町立三朝中学校 PTA「かじか」

佳　作
北栄町立北栄中学校 PTA「PTA 会報」
大山町立名和中学校 PTA「あさなぎ」

平成 26 年度 鳥取県 PTA 広報紙コンクール受賞校一覧

≪小学校の部≫

表彰区分	学校名	広報紙名
教育長賞	米子市 車尾小学校	く　ず　も
県PTA会長賞	西伯郡 大山小学校	カラス天狗
新日本海新聞社賞	東伯郡 北条小学校	茶臼山プレス
金　賞	米子市 伯仙小学校	はくせん
	鳥取市 醇風小学校	醇 JUNPU 風
銀　賞	西伯郡 中山小学校	みどりの広場
	東伯郡 浦安小学校	うらやす
銅　賞	鳥取市 若葉台小学校	カリヨンのひびき
	米子市 五千石小学校	ごせんごく
努力賞	倉吉市 明倫小学校	めいりん
	八頭郡 船岡小学校	なんだかんだプレス

≪中学校の部≫

表彰区分	学校名	広報紙名
教育長賞	東伯郡 北条中学校	PTA 会報
県PTA会長賞	西伯郡 名和中学校	あさなぎ
新日本海新聞社賞	東伯郡 三朝中学校	か　じ　か
金　賞	東伯郡 東郷中学校	P.T.A 会報
銀　賞	倉吉市 鴨川中学校	かもがわ
銅　賞	鳥取市 南中学校	希望（ホープ）
努力賞	西伯郡 法勝寺中学校	せゝらぎ

米子市・境港市で中学校給食がスタート！！

予てから待望の中学校給食がスタートしました。そんななか、米子市小中ＰＴＡ連合会では第二給食センターで視察、給食試食会を催しました。７月７日・９日・14 日の３日間で延べ 120 名の保護者が参加しました。管理栄養士さんからの説明や最新の設備で安心安全な給食を調理してるところを皆さん真剣な眼差しで見ていました。大・大・大好評につき 10 月 28 日・29 日に第二弾も開催致しました。

米子市小中ＰＴＡ連合会による ケータイ・スマホのアピール文の経緯と継続について

情報モラル対策検討委員会に聞いてみました。

「みんなが持っているから」お子さんからそのように頼まれたことがありませんか？

県内でもケータイ、スマホ、ネット環境に繋がるゲーム機や音楽プレーヤー等を持っているお子さんは少なくありません。しかし、それは「みんな」ではありません。

2013 年、広島県でＬＩＮＥでの悪口に端を発した凄惨な殺人事件が起きました。また、同年に厚生労働省の調査結果「中高生 51 万人ネット依存　睡眠に悪影響、栄養障害も」という記事を新聞でみかけました。子どもたちをとりまく環境は非常に厳しい局面を迎えています。米子市内でも

- ネット依存に陥り睡眠不足となり学校をやすみがちになる
- ネット環境が目的でＷｉ－Ｆｉの繋がるところへ遊びに行く
- 子どもの方が詳しく、何をしているか分からない
- フィルタリングをかけても、解除する方法がすぐに広がる
- ＬＩＮＥで違う意見だと仲間外れにされる。

といったことがあり、子どもたちの生活に支障が出始めていました。このような状況を踏まえ私たち米子市小中ＰＴＡ連合会では、一人でも多くの子どもを守るために出来ることはないかと考えました。一人でも、二人でも、、、、です。

2013 年度に連合会の役員会で「緊急アピール」を発信してはどうかという案が出ました。家庭内のどこかに貼ってもらえるようなインパクトのあるポスターのようなもの、またアピール効果を考えあえてきつい文章にしてはどうか等さまざまな意見が出ました。話し合いの結果、「ケータイ、スマホは持たせません」という単刀直入な言葉でアピール文を作ることになったのです。「みんなが持っているから」と子どもに購入を頼まれた時に指標にしてもらったり、また、多くの保護者に悪影響の部分についての認識をしてもらうきっかけになればと、強く願ってたどり着いた内容です。

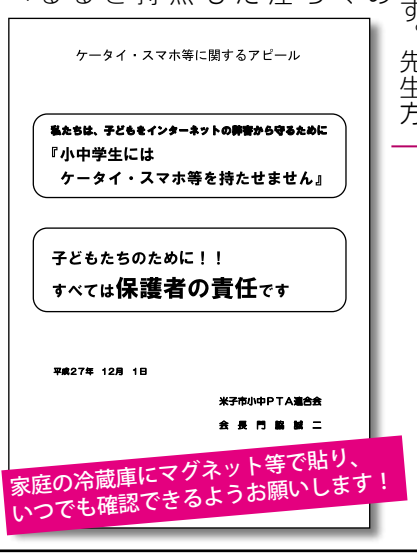
市内の小中学校ＰＴＡ代表者が集まる会議（以下、【代表者会】という）では「是非、米子市全体でアピール文を発信して子どもたちを守ろう！」という声を頂きました。なかには「すでに持たせているのに、いまさら持たせないというアピールはどうすればよいのか…」といった意見もありました。確かに家庭によって必要な場合もあるかと思います。そういった場合は、お子さんと使用方法についての話し合いをもち、ルールを作っておくということが必要です。代表者会ではかつてないほど多くの意見が出ましたが、圧倒的に賛成多数でアピール文の発信が決まりました。また発信時期については進級・進学の前の時期を選びました。アピール文の補足説明の文章についても意見が多岐にわたり、じっくりと考えて貰うために各学校へ持ち帰って頂き、その後意見集約をして作成しました。時間をかけた甲斐もあって、伝わりやすいアピール文が出来たと思います。そして緊急アピール発信後には、想像以上の反響があり全国的なメディアにも取り上げられネット上では激しく賛否両論の書き込みがありました。「これは各親の専権問題。ＰＴＡが口を挟む問題ではなかろう」「鳥取みたいなド田舎は圏外だから問題ないだろう。」「とは言え塾の送り迎えとかで必要って親から苦情がきそうな」また「いいんじゃないの？スマホや携帯があったから助かった！なんて話は聞いた事ナイし」などなど…。一方、米子市内の保護者の方からは「アピール文のおかげで持たせないきっかけになった」「スマホが与える悪影響の部分を、子どもが自覚するようになった」という声が実際に届き、とても嬉しく思いました。

2014 年には連合会に「情報モラル対策検討委員会」を立ち上げ、「継続は力なり！」という声に後押しされ引き続きアピール文を発信しました。急速に変化する子どもたちの環境の変化を危惧し「便利な機能を学ぶ芽をつみとってしまうのでは？」という心配の声もありましたが、情報教育の芽をつみとってしまうということは心配には及びません。学校では義務教育の課程の中で、きちんと学年に応じた学習を受けています。何か問題が起きた時に学校へ相談に行くより前に、まずは、家庭と学校が協力してしっかりと正しい判断力が養えるよう、その素地を育てていきたいものです。先生方には問題解決のために翻弄していただくよりも、子どもたちの真の教育に力を注いで頂く方が幸せだと思います。子どもたちはまだまだ未熟です。スマホ等を持たせていれば、子どもの居場所がわかるという安心感もあるでしょう。しかし、ＬＩＮＥなどでは誰とつながっているのか、保護者や学校の先生にも見えませんし何かが起きた時には連絡はとれない可能性があるのではないでしょうか？利便性を手に入れると同時に多くの危険が隣り合わせに潜んでいるのです。

子どもたちは大切な宝です。「たくましく生きる力」を育てましょう。

2015 年の冬、米子市内の家庭にはクリスマスの前にアピール文が届く予定です。保護者の皆さんには今一度子どもの健康や生きる力について考えて頂ければ幸いです。

また県ＰＴＡよりメディア 21:00 という運動が県内で始まります。連合会として「持たせません」というアピールは緩めませんが、これからの各家庭でのルール作りを今一度考えて頂く良いきっかけになればと願ってます。


ケータイ・スマホ等に関するアピール

私たちは、子どもをインターネットの弊害から守るために
『小中学生には
ケータイ・スマホ等を持たせません』

子どもたちのために！！
すべては**保護者の責任**です

平成27年　12月　1日

米子市小中ＰＴＡ連合会
会　長　門　脇　誠　二

家庭の冷蔵庫にマグネット等で貼り、いつでも確認できるようお願いします！

鳥取県 PTA 協議会　小・中学生総合保障制度（こども総合保険）

（2015 年 10 月現在の内容です）

★お子さまが加害者に!?
個人賠償責任補償（全プランセット）

★お子さまがケガ!?
ケガは 24 時間補償
（熱中症・細菌性食中毒も補償）

★学校へ携行する持ち物への備え
身の回り品補償（S,A,B,C プランのみセット）

【引受保険会社】AIU 損害保険㈱松江支店　松江市伊勢宮町 519-1 大同生命ビル 3F
TEL.0852-26-2781 FAX.0852-26-2776（受付時間:午前 9:00～午後 5:00　土・日・祝日・年末年始を除く）
※当制度の詳細に関しましては、配布されたパンフレットをご覧ください。　A000592　2016-10

平成 28 年度 PTA 活動中の団体保険（PTA 団体傷害保険・PTA 賠償責任保険）

PTA が主催する行事中に参加中のケガ・賠償事故を補償します。

★例えば保険ってどんなときに支払われるの?

☆PTA団体傷害保険
所属するPTAの行事であるバレーボール大会の練習中、転んで足を骨折してしまった。
※PTAの管理下で練習を行っていることが条件となります
所属するPTAの行事であるバザーで食中毒を起こし通院が必要となった。
※細菌性食中毒、ウイルス性食中毒を含みます

☆PTA賠償責任保険　※PTA活動の遂行に伴い法律上の賠償責任が発生する場合に支払いとなります
所属するPTAの行事である清掃活動時、草刈機を用いていたところ、飛び石により駐車場に停車中の車に傷をつけてしまった。
所属するPTAの共催行事である運動会でテントの張り方が悪く、倒れたテントにあたり怪我をしてしまった。

補償内容などの詳細はお気軽に取り扱い代理店へお問い合わせください!!

●取扱代理店
株式会社ライフアシスト
〒680-0873 鳥取市的場 2 丁目 81
TEL 0857-51-7233 FAX 0857-51-7234
＜受付時間＞ 平日：午前9時から午後5時まで

引受保険会社　損害保険ジャパン日本興亜株式会社
〒680-0822 鳥取市今町 2-112 アクティ日ノ丸総本社ビル2階
TEL 0857-23-3301 ＜受付時間＞平日：午前9時から午後5時まで

【事故サポートデスク】
0120－727－110
【受付時間】24時間365日
SJNK15-09918(2015/10/14)

「損害保険ジャパン日本興亜株式会社」は、損保ジャパンと日本興亜損保が 2014 年 9 月 1 日に合併して誕生した会社です。